

平成 27 事業年度財務諸表等の公表について

平成 28 年 7 月 22 日
国立大学法人一橋大学

1. はじめに

平成 27 事業年度の財務諸表等については、6 月 28 日付けで文部科学大臣より承認されました。

この財務諸表は、国立大学法人の特性を踏まえた、国立大学法人会計基準及びその実務指針等に従って作成しています。

2. 財務諸表の概要について

(財政状況)

① 資産

資産総額は 176,914 百万円で、前年度比 1,049 百万円の減少となっています。これは、固定資産において、「建物」が、図書館時計台棟の改修工事やライフライン（空調設備）工事、小平キャンパス武道場改修工事等により増加した一方、減価償却の影響で、「建物」総額で 216 百万円減少したことや、流動資産において、「現預金」が、目的積立金の執行等による設備投資が増えたことなどにより 678 百万円減少したことが主な要因です。

② 負債

負債総額は 23,983 百万円で、前年度比 769 百万円の減少となっています。これは、「資産見返負債」において、図書館時計台棟工事完了により建設仮勘定見返施設費が減少したことなどにより 251 百万円減少したことや、繰り越していた事業が完了したことなどにより、「運営費交付金債務」が 210 百万円減少したこと、「未払金」が 599 百万円減少したことなどが主な要因です。

③ 純資産

純資産総額は 152,931 百万円で、前年度比 279 百万円の減少となっています。これは「資本剰余金」が損益外減価償却累計額の増加等により 168 百万円減少したことや、「利益剰余金」が目的積立金を執行したこと等により 122 百万円減少したことなどが主な要因です。

(運営状況)

④ 経常費用

経常費用総額は11,111百万円で、前年度比34百万円の増加となっています。これは、「人件費」が、退職手当の減少等により113百万円減少した一方、「教育経費」が、特別経費（機能強化分）や寄附金等による学生の海外派遣留学費用等の増加や、一橋大学基金等による奨学金の増加、目的積立金による小平キャンパス安全対策事業等に係る修繕費の増加等により127百万円増加したことや、「研究経費」が、特別経費（学長リーダーシップ分）による社会科学高等研究院関連費用の増加や補助金（若手研究者採用拡大）による経費の増加等により66百万円増加したことなどが主な要因です。

⑤ 経常収益

経常収益総額は11,160百万円で、前年度比4百万円の減少となっています。主な増減要因は、「運営費交付金収益」が、繰り越していた事業の完了等により108百万円増加したことや、「授業料収益」が留年者数の減少等により106百万円減少したこと、「雑益」が一橋講堂の施設使用収益の増加等により、19百万円増加したことなどです。

⑥ 臨時利益

中期目標期間最終年度に伴う運営費交付金債務の精算による収益等により、23百万円計上されています。

⑦ 当期総利益

効率的な事業の実施による経費節減や運営費交付金債務の精算による臨時利益の計上等により収益が費用を上回ったことのほか、目的積立金取崩額を計上したことにより、128百万円の当期総利益を計上しました。

3. おわりに

国立大学法人は運営の基盤となる運営費交付金の交付を受けておりますが、平成28年度を初年度とする第3期中期目標期間においては、国による運営費交付金の配分方針が見直され、毎年度、機能強化促進係数（本学 $\Delta 1.6\%$ ）により基盤的経費が減額され、各大学における機能強化の取組に対する評価に基づき機能強化促進経費として再配分されるなど、安定的財源の確保がますます厳しい状況に置かれております。

このような状況の中で、適正な大学運営を実現するために、業務運営の合理化・効率化等をより一層推進させ、業務改善に努めて参ります。

貸借対照表 B/S(Balance Sheet)

期末における資産、負債及び純資産の残高を示し、本学の財政状態を表すもので、表の左側で手元資金をどのような形で運用しているのかを表し、右側で手元資金をどのような方法で集めているのかを表しています。

	(単位：千円)		
科目	平成26事業年度	平成27事業年度	増減
【資産の部】			
I 固定資産	172,757,826	172,372,553	△385,273
1 有形固定資産	169,109,768	168,799,091	△310,677
● 土地	134,509,692	134,509,692	-
● 建物	18,250,757	18,034,641	△216,116
● 構築物	653,146	656,116	2,970
● 工具器具備品	399,544	638,970	239,426
● 図書	14,089,887	14,203,379	113,491
● 美術品・收藏品	749,973	749,893	△80
● 船舶	170	6,400	6,230
● 車両運搬具	0	0	-
● 建設仮勘定	456,599	-	△456,599
2 無形固定資産	413,187	321,386	△91,801
● ソフトウェア	412,342	320,541	△91,801
● 電話加入権	845	845	-
3 投資その他の資産	3,234,871	3,252,075	17,204
● 投資有価証券	3,233,697	3,252,040	18,343
● 差入敷金・保証金	1,139	-	△1,139
● 預託金	35	35	-
II 流動資産	5,204,969	4,541,503	△663,466
● 現金及び預金	5,026,300	4,348,132	△678,168
● 未収学生納付金収入	30,571	29,129	△1,442
● うち徴収不能引当金	△2,594	△2,157	437
● 未収入金	105,228	129,151	23,923
● 前払費用	25,775	26,539	764
● 立替金	19,689	10,342	△9,347
● 短期貸付金	-	367	367
資産の合計	177,962,796	176,914,056	△1,048,739

図書館時計台様の改修工事 (+485,145千円)、ライフライン(空調設備)工事 (+179,051千円)、小平キャンパス武道場改修工事 (+82,137千円) 等による増 (減価償却△1,063,859千円)

インテリジェントホール屋外環境整備工事 (+20,312千円)、小平国際キャンパス安全対策機械設備工事 (+19,081千円)、一橋大学小平国際キャンパス安全対策電気設備工事 (+13,837千円) 等による増 (減価償却△74,608千円)

業務系情報基盤システム(リース資産)取得 (+143,029千円)、キャンパスネットワーク機器 (+122,957千円) 等による増 (減価償却△153,584千円)

図書の購入による増

昨年度から繰り越していた図書館時計台様の改修工事及び小平キャンパス武道場改修工事完了による減

学部・大学院教務事務システム一式 (+14,174千円) 等による増 (減価償却△139,700千円)

目的積立金の取り崩し等により設備投資にかかる執行額が増えたこと等による減

受託事業費等にかかる未収入金の増

	(単位：千円)		
科目	平成26事業年度	平成27事業年度	増減
【負債の部】			
I 固定負債	16,635,847	16,421,988	△213,859
● 資産見返負債	16,214,638	15,964,077	△250,561
● 引当金	31,340	40,698	9,358
● 退職給付引当金	11,272	11,556	284
● 環境対策引当金	20,068	29,142	9,074
● 長期リース債務	242,347	267,346	24,999
● 資産除去債務	147,522	149,867	2,345
II 流動負債	8,116,844	7,561,283	△555,561
● 運営費交付金債務(※)	210,427	-	△210,427
● 預り施設費等(※)	148,390	-	△148,390
● 寄附金債務(※)	6,017,490	6,380,823	363,333
● 前受受託研究費等	4,408	3,901	△507
● 前受受託事業費等	24,376	17,918	△6,458
● 前受金	690	4,368	3,678
● 預り科学研究費補助金等	88,979	99,089	10,109
● 預り金	117,403	116,748	△655
● リース債務	74,557	107,783	33,227
● 未払金	1,430,125	830,653	△599,471
負債の合計	24,752,690	23,983,271	△769,419

固定資産を新規に取得したことによる増の一方、昨年度繰り越した図書館時計台様工事完了等により建設仮勘定見返施設費が417百万円減少したこと及び減価償却による減

環境対策引当金(PCB処理費用)を追加計上したものの

新規リース資産取得による増

繰り越していた事業が完了したことのほか、中期目標期間最終年度に伴う精算による収益化を行ったことによる減

昨年度繰り越した施設費による工事が完了したことによる減

翌事業年度への繰越額の増

翌事業年度への繰越額の減

科研究基金金の受入額の増

新規リース資産取得による増

翌年度4月に支払ひとなる未払金額の減少等による減

【純資産の部】			
I 資本金	157,843,538	157,843,538	
● 政府出資金	157,843,538	157,843,538	-
II 資本剰余金	△5,502,244	△5,670,726	△168,482
● 資本剰余金	7,928,710	8,776,823	848,114
● 損益外減価償却累計額(-)	△13,324,554	△14,338,879	△1,014,324
● 損益外減損損失累計額(-)	△84,339	△84,339	-
● 損益外利息費用累計額(-)	△22,060	△24,331	△2,271
III 利益剰余金	847,287	725,189	△122,098
● 前中期目標期間繰越積立金	431,149	431,149	-
● 教育研究の質の向上及び組織運営の改善積立金	328,504	165,675	△162,829
● 当期末処分利益	87,635	128,366	40,731
● (うち当期総利益)	(87,635)	(128,366)	(40,731)
IV その他有価証券評価差額金	21,524	32,784	11,260
純資産の合計	153,210,105	152,930,785	△279,320
負債・純資産の合計	177,962,796	176,914,056	△1,048,739

施設費補助金を財源として取得した固定資産等による増

政府出資の固定資産に係る減価償却の計上等による減

第1期中期目標期間から繰り越された積立金の期末残高

平成22~26事業年度の剰余金から生じた目的積立金の期末残高

平成26年度利益処分案が認められたことによる剰余金による増(+87,635千円)及び目的積立金取崩しによる減(△250,464千円)

経費節減や一橋講堂の施設使用収益の増等による収益増、運営費交付金債務の精算による臨時利益の計上等による増

※ 上記の計数は千円単位で表記しており、千円未満を四捨五入してあるので、合計の合わない箇所があります。(以下、特に断らない限り同じ)

(※) 運営費交付金債務・預り施設費・寄附金債務

運営費交付金等は、受領時に収益ではなく債務として流動負債へ計上します。これは、教育や研究など、交付額や受領額に見合う一定の事業を実施する義務を負っていることによります。これらの債務は、期間の経過や事業のための支出額等に伴い、収益化されます。

損益計算書 P/L(Profit & Loss Statement)

一会計期間に費用、収益がどれだけ発生したかを表し、大学の運営状況を明らかにするもので、本学が、教育・研究等の業務を実施した費用をどの財源（収益）で賄ったのかを表しています。

特別経費（機能強化分）等による学生海外留学費用等の増（+11,533千円）、ICSでのGNP海外学生派遣業務による増（+16,602千円）、基金等による奨学金の増（+44,233千円）、授業料等免除奨学金の増（+13,413千円）、目的積立金による小平キャンパス安全対策事業や、小平武造場の耐震化整備、国立キャンパス本館空調設備等による修繕費の増（+99,958千円）

特別経費（学長リーダーシップ経費）による社会科学高等研究院関連費用の増（+43,515千円）、補助金「若手研究者採用拡大」（+25,491千円）や「頭脳循環〜」（+16,474千円）等による経費の増

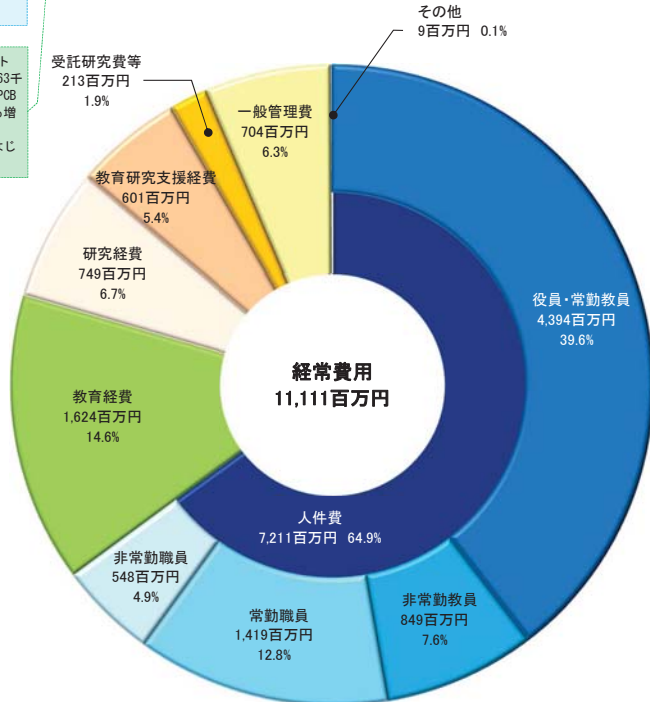
「東南アジア地域における組織経営モデルに関する研究」終了等による減（△8,885千円）ほか

「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」執行額の減（△31,617千円）ほか

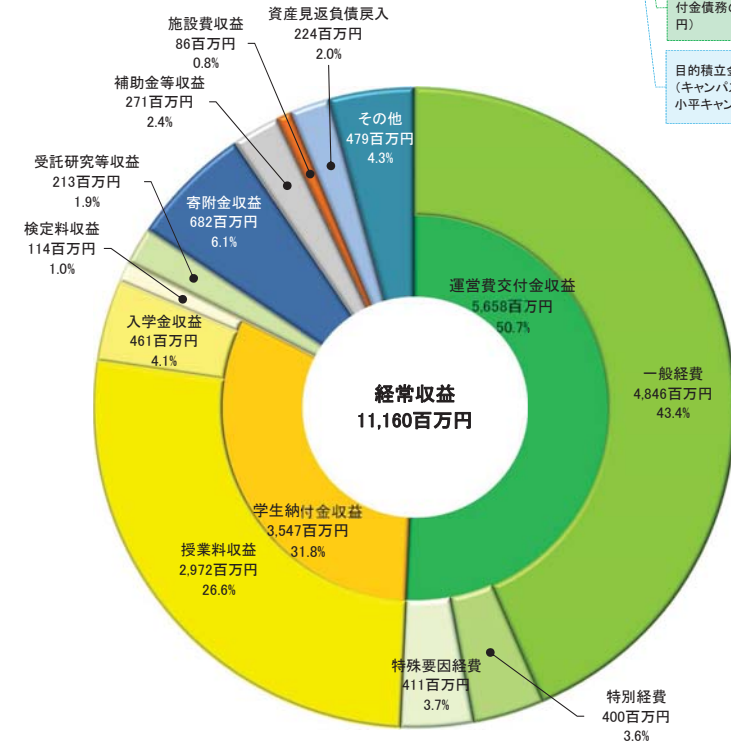
非常勤教職員人件費の増加等による給与等の増（+133,286千円）の一方、退職手当の減（△246,700千円）

目的積立金によるキャンパスネットワーク整備にかかる保守費（+5,563千円）、追加環境対策引当金繰入（PCB処理費用）（+9,074千円）等による増の一方、ソウルアカデミア終了（△9,147千円）及び光熱水費をはじめとする経費節減による減

科目	平成27事業年度 (単位：千円)		増減
	平成26事業年度	平成27事業年度	
I 経常費用	11,077,061	11,110,770	33,709
業務費	10,358,553	10,398,160	39,607
● 教育経費	1,496,989	1,623,654	126,665
● 研究経費	683,153	749,393	66,240
● 教育研究支援経費	595,183	600,748	5,565
● 受託研究費	26,987	11,491	△15,496
● 受託事業費	231,441	201,488	△29,953
● 人件費	7,324,800	7,211,386	△113,414
● 一般管理費	714,941	703,507	△11,435
財務費用	2,689	7,631	4,942
支払利息	1,538	7,028	5,490
為替差損	1,151	603	△547
雑損	878	1,472	594
II 臨時損失	291	782	491
固定資産除却損	291	782	491
費用計	11,077,352	11,111,551	34,199



科目	平成27事業年度 (単位：千円)		増減
	平成26事業年度	平成27事業年度	
I 経常収益	11,164,696	11,160,260	△4,436
運営費交付金収益	5,550,091	5,658,184	108,093
授業料収益	3,077,536	2,971,903	△105,633
入学金収益	457,827	460,929	3,102
検定料収益	116,072	114,471	△1,601
受託研究等収益	26,987	11,491	△15,496
受託事業等収益	231,441	201,488	△29,953
補助金等収益	250,960	270,835	19,875
寄附金収益	615,592	682,135	66,542
施設費収益	140,894	86,067	△54,826
資産見返負債戻入	237,301	223,664	△13,636
財務収益	277	212	△64
受取利息	277	212	△64
雑益	459,718	478,880	19,162
II 臨時利益	291	22,877	22,586
資産見返負債戻入	291	22,877	22,586
収益計	11,164,987	11,183,137	18,150
当期純利益 (収益計－費用計)	87,635	71,585	△16,049
目的積立金取崩額	-	56,780	56,780
当期総利益 (当期純利益＋目的積立金取崩額)	87,635	128,366	40,731



- 繰越していた事業が完了したことなどによる収益の増加
- 留年者の減少等による在籍者数減に伴う授業料収入額の減少等による減
- 「東南アジア地域における組織経営モデルに関する研究」終了（△8,885千円）等による減
- 「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」執行額（△31,617千円）等による減
- 「優れた若手研究者の採用拡大」の増（+53,681千円）、「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進」（+19,214千円）等による増
- 基金等による奨学金の増（+42,983千円）、ICSでの寄附金財源でのGNP海外学生派遣業務（+16,602千円）、CFO教育研究センター運営助成金（+11,082千円）等による増
- 耐震対策事業：図書館時計台棟改修工事（+68,454千円）等による増の一方、老朽対策等基礎整備事業：研究保存図書館工事終了（△17,390千円）アーカイブズ整備（研究保存図書館等の整備）終了（△101,871千円）等による減
- 図書などの除却の減
- 一橋講堂の施設使用収益の増
- 中期目標期間最終年度に伴う運営費交付金債務の精算による収益（+22,095千円）
- 目的積立金の執行にかかる費用相当分（キャンパスネットワーク更新整備事業、小平キャンパス安全対策事業）

キャッシュ・フロー計算書

一会計期間の資金（キャッシュ）の流れ（フロー）を一定の活動別に区分して表すもので、「貸借対照表」や「損益計算書」からは読み取ることができない、実際の資金の流れや過不足を表します。

		(単位：千円)		
		平成26事業年度	平成27事業年度	増減
通常の業務の実施に係る資金の収支状況	● I 業務活動によるキャッシュ・フロー			
	原材料、商品又はサービスの購入による支出	△2,239,319	△2,843,903	△604,584
プロジェクト経費等による非常勤教職員人件費の増や入事院勧告等による支出の増	● 人件費支出	△7,327,038	△7,451,098	△124,060
	● その他の業務支出	△571,757	△699,146	△127,388
目的積立金等による設備投資にかかる執行額の増	● 運営費交付金収入	5,648,992	5,586,455	△62,537
	● 授業料収入	2,936,182	2,855,037	△81,145
大学改革促進係数等による減	● 入学金収入	452,424	455,966	3,542
	● 検定料収入	116,072	114,471	△1,601
留年者の減少等による在籍者数減に伴う授業料収入額の減少等による減	● 受託研究等収入	11,064	18,270	7,206
	● 受託事業等収入	212,358	158,021	△54,336
補助金の受入額の減	● 補助金等収入	405,165	284,389	△120,776
	● 補助金等の精算による返還金の支出	△44,014	△30,428	13,585
寄附金の受入額の減	● 寄附金収入	1,407,012	977,320	△429,692
	● その他収入	444,948	516,776	71,828
外部資金返還分の増	● 預り金の増減	△883	14,166	15,049
	● 小計	1,451,206	△43,704	△1,494,910
	● 国庫納付金の支払額	-	-	-
投資活動に係る資金の収支状況	● 業務活動によるキャッシュ・フロー	1,451,206	△43,704	△1,494,910
固定資産購入にかかる支出の減	● II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
	● 有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△1,201,572	△843,680	357,893
施設整備費補助金の受入額の減	● 施設費による収入	840,789	369,523	△471,266
平成26年度一平成27年度に施設整備補助金を繰越したことに伴い、一時的に返金したもの	● 施設費の精算による返還金の支出	△84,105	△148,390	△64,285
	● 有価証券の取得による支出	△399,920	-	399,920
有価証券を新規で購入をしなかったことによる支出の減	● 有価証券の売却・償還による収入	628,000	99,572	△528,428
	● 定期預金の預入による支出	△300,000	△100,000	200,000
	● 定期預金の払出による収入	300,000	110,000	△190,000
有価証券の償還による収入がなかったことによる減	● 利息及び配当金の受取額	277	212	△64
	● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△216,532	△512,763	△296,231
借入・返済による収入・支出等、資金の調達及び返済等に係る資金の収支状況	● III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
	● リース債務の返済による支出	△76,125	△104,748	△28,623
	● 利息の支払額	△1,496	△6,954	△5,458
	● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,621	△111,701	△34,081
外貨建て預金を円換算した場合の差額相当額	● IV 資金にかかる換算差額	380	-	△380
	● V 資金増加(減少)額	1,157,433	△668,168	△1,825,601
	● VI 資金期首残高	3,858,867	5,016,300	1,157,433
	● VII 資金期末残高	5,016,300	4,348,132	△668,168

利益の処分に関する書類

損益計算書により算定された当期総利益（又は当期総損失）から、前期繰越欠損金の金額を差し引いて算定される当期未処分利益（又は当期未処理損失）の処分（又は処理）の内容を明らかにするために作成するものです。

		(単位：千円)		
		平成26事業年度	平成27事業年度	増減
I 当期未処分利益				
当期総利益		87,635	128,366	40,731
前期繰越欠損金		-	-	-
II 積立金振替額				
前中期目標期間繰越積立金		-	431,149	431,149
目的積立金		-	165,675	165,675
III 利益処分額				
積立金		-	725,189	725,189
教育研究の質の向上及び組織運営の改善積立金		87,635	-	△87,635

国庫納付予定の運営費交付金債務分が、中期目標期間最終年度に伴う精算により収益化された額(+22,095千円)が含まれている

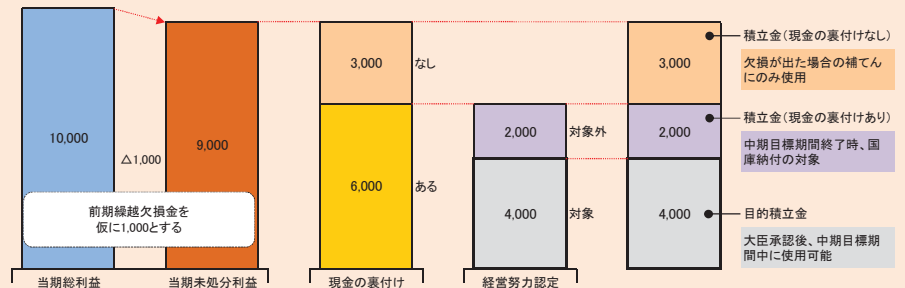
第1期中期目標期間から繰り越された積立金の期末残高(現金の裏付けなし)

平成22~26事業年度の剰余金から生じた目的積立金の期末残高

第2期中期目標期間最終年度に伴い、一旦全額を積立金へ振り替える

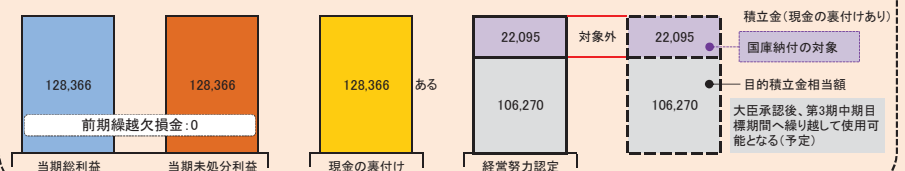
<参考>剰余金の繰越承認について

決算剰余金の翌事業年度への繰越に係る大臣承認(目的積立金)は、当期未処分利益のうち、経営努力によるもので現金の裏付けがあり、事業の用に供することが可能な額が対象となります。



【本学の平成27事業年度の場合】

(単位：千円)



国立大学法人等業務実施コスト計算書

本学の教育・研究等の業務運営に要した費用（コスト）のうち、どれだけ国民の税金で賄われているのかを「国立大学法人等業務実施コスト計算書」として表すもので、この計算書は、民間企業にはなく、独立行政法人や国立大学法人特有のもので

す。

(単位：千円)

科目	平成26事業年度	平成27事業年度	増減
I 業務費用	6,101,821	6,191,038	89,217
(1) 損益計算書上の費用	11,077,352	11,111,551	34,199
業務費	10,358,553	10,398,160	39,607
一般管理費	714,941	703,507	△11,435
財務費用	2,689	7,631	4,942
雑損	878	1,472	594
臨時損失	291	782	491
(2) (控除) 自己収入等	△4,975,531	△4,920,514	55,017
授業料収益	△3,077,536	△2,971,903	105,633
入学料収益	△457,827	△460,929	△3,102
検定料収益	△116,072	△114,471	1,601
受託研究等収益	△26,987	△11,491	15,496
受託事業等収益	△231,441	△201,488	29,953
寄附金収益	△615,592	△682,135	△66,542
資産見返負債戻入	△133,602	△142,780	△9,177
財務収益	△277	△212	64
雑益	△315,905	△334,324	△18,418
臨時収益	△291,211	△782	△491
II 損益外減価償却等相当額	1,128,004	1,062,346	10,192
III 引当外賞与増加見積額	4,550	△273	△4,823
IV 引当外退職給付増加見積額	△365,188	164,533	529,721
V 機会費用	598,919	71	△598,848
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	72	71	△2
政府出資の機会費用	598,846	-	△598,846
VI (控除) 国庫納付額	-	-	-
VII 国立大学法人等業務実施コスト	7,468,106	7,417,715	△50,391

損益計算書上の費用から自己収入等(学生納付金等)を控除した相当額

収益に上がらない資産の減価償却費等の相当額

支払財源が運営費交付金である賞与引当金の増加見積相当額(前年度との差額を計上)

支払財源が運営費交付金である退職手当引当金の増加見積相当額(前年度との差額を計上)

国立大学法人であるために免除されている費用

算定に使用する10年利付国債の利回りが減少した影響による減(H26 0.395%→H27 0%)

決算報告書

国における会計認識の基準(現金主義+出納整理期)に準じて作成することとされており、国立大学法人の運営状況の見込みとその実績を表すものです。

具体的には、年度計画における予算額(文部科学省から示される運営費交付金算定上の予算額等を基に算定したもの)と実際に執行した決算額を対比しています。

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額(決算-予算)
収入			
運営費交付金	5,481	5,775	294
施設整備費補助金	274	759	485
補助金等収入	272	284	12
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27	27	-
自己収入	3,972	3,900	△71
授業料、入学料及び検定料収入	3,558	3,422	△136
雑収入	414	478	64
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,141	1,180	39
目的積立金取崩額	329	250	△78
計	11,495	12,176	680
支出			
業務費	9,781	9,780	△1
教育研究経費	9,781	9,780	△1
施設整備費	301	786	485
補助金等	272	279	7
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,141	969	△172
計	11,495	11,815	320
収入-支出	-	361	361

予算積算にない国からの予算が措置されたこと等による増

予算積算にない国からの予算が措置されたこと等による増

授業料収入の減少等による減

一橋講堂の施設使用料収入の増加等による増

寄附金収入の増加等による増

事業計画の変更等による減

予算積算にない国からの予算が措置されたこと等による増

寄附金事業の翌年度以降への繰越による減

【1年間の運営にかかる国民が負担する一人あたりコスト】

$$\text{業務実施コスト} \div \text{総人口} = (7,417,715 \text{千円} \div 127,103 \text{千人})^* = \text{約} 58 \text{円}$$

* 出典:「人口推計」(総務省統計局)2015年12月1日現在